

今が分かる

ふくしまの

新聞

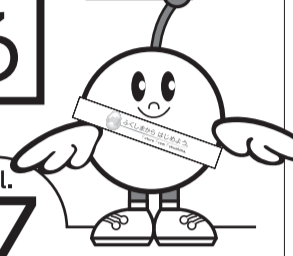
vol. 17

2014年3月7日

発行：福島県避難者支援課 ☎024-523-4157

※この広報誌は「クウェート救援金」を財源として発行しています。

福島県が発行する「ふくしまの今が分かる新聞」では、県内に居住している皆様、福島県内外に避難されている皆様、そして被災者・避難者支援に携わる多くの皆様へ、避難者支援の状況や福島県の復興への動きなど「今ふくしまが何を行っているか」が分かる情報をお届けします。



被災者の見守り支援や健康サポートについて

高齢者等サポート拠点による支援

今年3月で東日本大震災から3年を迎えますが、県内外の応急仮設住宅等において約13万6千人の県民が住み慣れた土地を離れ、避難生活を続けています。

仮設住宅での避難生活の長期化や生活環境の変化に伴い、生活習慣の悪化や生活機能の低下を来す方や、閉じこもりがちになり精神的な悩みを訴えるケースも増加するなど、避難されている方々の心身の健康状態のケアが不可欠な状況にあります。

このようなか、県では、応急仮設住宅地域に「高齢者等サポート拠点」を設置し、仮設住宅や借上げ住宅などに入居する高齢者等に対して、デイサービスや訪問介護などのサービスを行っています。また、入居者の孤立を防ぎ、生活を支援するべく、サポート拠点を活用して、生活相談や地域交流の場、配食サービス、高齢者等の健康状態の維持・向上のため、介護予防や健康教室を実施しています。

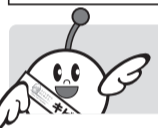


福島県が設置するサポート拠点

※平成26年2月現在

サポート拠点/名称	仮設住宅団地(所在地)	サービス一覧 ※●は介護保険制度対象外						問い合わせ(TEL)	
		訪問介護	総合相談	配食	サロン	見守り	体操教室		
浪江町サポートセンター桑折	桑折町字東段	○	○	○	○	○	○	いきがいデイ、学童保育	024-573-2500
浪江町サポートセンターふくしま	福島市笹谷		○	○	○	○	○	学童保育	024-559-2552
サポートセンターあづまっぺ	福島市松川町	○	○	○	○	○	○		024-573-2153
浪江町サポートセンター杉内	二本松市西勝田	○	○	○	○	○	○	一時保育・学童保育	0243-55-2630
浪江町サポートセンター安達	二本松市油井	○	○	○	○	○	○	いきがいデイ、学童保育	0243-24-8655
浪江町サポートセンター本宮	本宮市高木	○	○	○	○	○	○	障害者活動	0243-33-6336
サポートセンター「ふれあい処あだたら」	大玉村玉井	○	○	○	○	○	○		0243-68-2711
おだがいさまセンター	郡山市富田町		○	○	○	○	○		024-935-3332
高齢者サポート拠点「あさかの杜 ゆふね」	郡山市南一丁目		○	○	○	○	○		024-937-2717
サポートセンター「花見処さくら」	三春町大字熊耳	○	○	○	○	○	○		0247-62-3010
三春の里 みどり荘	三春町柴原	○	○	○	○	○	○		0247-62-8687
サポートセンターならは あいづ	会津美里町字宮里	●	○	○	○	○	○		0242-55-0177
高齢者等サポート拠点「つなごっぺセンター」	会津若松市一箕町	○	○	○	○	○	○	外出支援	0242-85-8500
サポートセンターまごころ	新地町小川	○	○	○	○	○	○		0244-63-2234
高齢者等サポートセンター西工業団地	相馬市大野台		○	○	○	○	○		0244-26-8910
高齢者等サポートセンター柚木	相馬市柚木		○	○	○	○	○		0244-26-9550
サポートセンター希望	南相馬市鹿島区	○	○	○	○	○	○		0244-26-8246
サポートセンターひろの	いわき市四倉町		○	○	○	○	○		0246-38-7890
サポートセンターならは いわき	いわき市平上山口	●	○	○	○	○	○		0246-46-2090
サポートセンター空の家	いわき市平上山口	●	○	○	○	○	○	学童保育	0246-38-8680
双葉町サポートセンターひだまり	いわき市南台	●	○	○	○	○	○		0246-38-7105

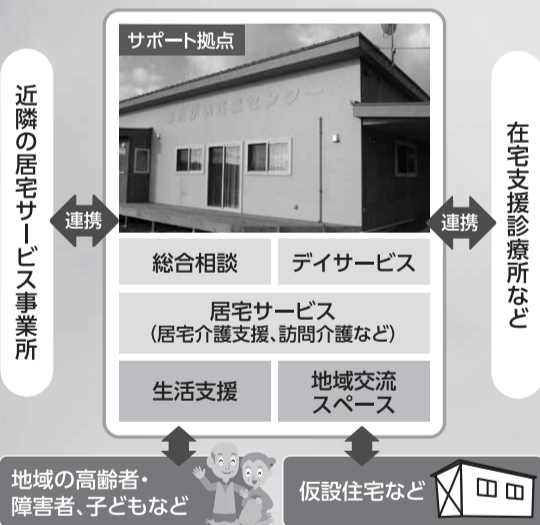
出身市町村に関わらず、生活相談や見守りなどのサービスを利用することができます。詳しくは、お住まいの仮設住宅(借上げ住宅含む)の最寄りのサポート拠点まで、お気軽にご相談ください。



富岡町生活復興支援センター

富岡町社会福祉協議会が運営する「おだがいさまセンター」は、被災された方々に対する生活支援や見守り、交流サロン、総合相談などを行うサポート施設です。

サポート拠点の役割(イメージ)



お話を伺いました!

おだがいさまセンター
吉田 晶子さん



震災当初は、「情報がない」という皆さんの声を受け、月に2回、情報誌を発行したり、FMラジオを開設しての情報発信に努めました。現在ではこれに加えて、ほぼ毎日、気軽に利用できるサロンを開催していますが、郊外に住まわれている方から、参加したくても「足がない」といった声が多く聞かれます。巡回バスなど交通面での支援があると良いですね。

また、当センターには、仮設住宅入居者に関わらず、様々な市町村の出身の方が集まります。特に、借上げ住宅の方は、なかなか情報が入らないという声もありますので、どなたでも気軽に参加していただきたいと考えています。

皆さんの健康状態については、睡眠不足の方が多く印象がありますね。体を動かす習慣のあった方が、運動不足で体力的に疲れないなどの要因もあると思います。食事面で言うと、家族と生活していた頃は献立にも気を使いますが、少人数ですと、レトルトなど手間が掛からない食事などに偏りがちです。また、仮設住宅は調理スペースが小さく、大鍋や油を使う料理方法が難しくなっている場合もあるようです。

これに対し、集会所の広い調理スペースを使って料理教室を行うなど、工夫しながら取り組んでいます。先日好評だった「おでんパーティー」などは、利用者との何気ない会話から

生まれた企画です。避難されている方々の自立に向けた支援の必要性が増す中で、まずは利用者自身が「動いていく」ことも大事なのだ

と思います。そのためには、普段のやりとりの中からアイデアを得て、どのような支援につながるかが求められていくと思いますし、他の社会福祉協議会等と連携することも考えていきたいです。

毎年、七夕には皆さんに短冊を作ってもらっています。当初は「家に帰りたい」「家族に会いたい」という『一人称』の願いを書く方がほとんどでした。驚くことに、2年目には「皆が健康で過ごせるように」といった『複数形』の想いに変ったのです。さらに、3年目には、趣味や生活の向上に触れる短冊も増え、皆さんの意識が少しずつ変化していることが分かります。これからも私たちは、利用者のニーズに寄り添って、それぞれの段階に応じたサポートに取り組んでいきたいと思っています。近くへお立ち寄り際には、ぜひ当センターまでお越しください!



右記の健康教室や健康・栄養などの個別相談については、各市町村の健康・福祉に関する担当部署か、県の保健福祉事務所の窓口までお問い合わせください。

- 県内の保健福祉事務所
- 県北 ☎ 024-534-4161
- 県中 ☎ 0248-75-7814
- 県南 ☎ 0248-22-5443
- 会津 ☎ 0242-29-5508
- 南会津 ☎ 0241-63-0303
- 相双 ☎ 0244-26-1138
- 相双 いわき出張所 ☎ 0246-24-6118

被災された方の健康サポート



栄養指導

避難生活では、生活環境の変化により調理意欲が低下したり、お総菜などの軽食や外食で済ませ、野菜不足や栄養が偏りがちな方も増えているようです。

そこで、仮設住宅の集会場等では、電子レンジを活用した簡単調理や肥満予防のための栄養教室、親子で作るおやつ教室などを実施しています。

また、県栄養士会の協力で「簡単でおいしいレシピカード」を作成し、栄養教室に参加できない方々にも栄養相談を受けながら配布しています。何よりも『みんなで作って、みんなで食べる』がこころと身体の栄養となっています。

仮設住宅等での避難生活に伴う生活習慣病の予防対策により、健康面での不安の解消を図るため、市町村や関係団体と連携し、健康管理のための保健指導や偏りがちな食生活の改善に向けた栄養指導などを行い、適切な生活習慣の定着に取り組んでいます。また、一人ひとりに合わせた運動指導などにより、運動不足を解消し、いきいきとした健康生活を送るためのサポートをしています。

みんなと作って食べることでおいしく、食欲が出てきました。

自宅に戻る日まで、健康管理をして頑張ります。

みんなと集まって、体を動かした日はよく眠れます。



運動サポート



仮設住宅では、生活の中で体を動かすことが少なくなっています。特に、高齢者の皆さんは、運動不足や筋力低下により日常生活に支障が出てくる場合がありますので、積極的に体を動かすことが大切です。

サポート拠点では、「ストレッチ」「ゴムバンドを使った運動」など自宅でも継続できるものから、「レクリエーションを通じた運動」「音楽に合わせたリズム体操」などを取り入れた運動教室が実施されています。また、運動教室を通じて、避難されている皆さんが自主的に集まって、毎朝「ラジオ体操」や「ウォーキング」を行い、健康づくりに励んでいます。

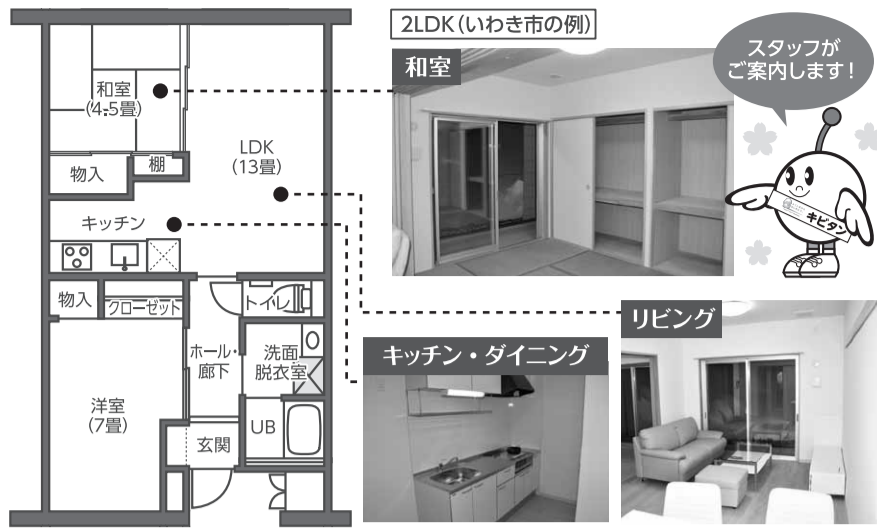


復興公営住宅の建設の進捗状況

県では、市町村営を含む復興公営住宅の地区名、計画戸数、構造及び現在の状況等を公表しています(毎月更新)。詳しくは、下記WEBサイトをご覧ください。
※地震・津波等の被災による、自市町村の罹災住民向け住宅の整備状況も掲載しています。

福島県 復興公営住宅の進捗 検索 (平成26年2月28日時点)

事業主体	団地名または地区名	計画戸数	現在の状況				完成予定年度
			用地 選定 契約	設計 着手 完了	造成工事 着手 完了	建築工事 着手 完了	
福島県	郡山市	柴宮	30	→	→	→	H26
		富田町 1	40	→	→	→	H26
		富田町 2	40	→	→	→	H27
		富田町 3	40	→	→	→	H27
		富田町 4	32	→	→	→	H27
		日和田町	20	→	→	→	H26
		富久山町 1	20	→	→	→	H26
		富久山町 2	40	→	→	→	H27
		喜久田町 1	50	→	→	→	H26
		喜久田町 2	15	→	→	→	H27
		喜久田町 3	20	→	→	→	H27
	会津若松市	古川町	20	→	→	→	H26
		年貢町 1	42	→	→	→	H26
		年貢町 2	8	→	→	→	H26
	いわき市	湯長谷	50	→	→	→	H26
		下神白	200	→	→	→	H26
		平八幡	12	→	→	→	H27
		小名浜大原	60	→	→	→	調整中
小川		50	→	→	→	調整中	
北好間中川原		200	→	→	→	調整中	
勿来酒井		200	→	→	→	調整中	
泉町本谷		200	→	→	→	調整中	
内郷宮町		70	→	→	→	調整中	
福島市		北信	24	→	→	→	H26
	笹谷	24	→	→	→	H26	
	飯坂	58	→	→	→	調整中	
二本松市	油井	70	→	→	→	調整中	
南相馬市	上町	150	→	→	→	調整中	
	北原	264	→	→	→	調整中	
桑折町	桑折町	東段地区	25	→	→	H26	
飯館村	福島市	飯野町団地	23	→	→	H26	
葛尾村	三春町	恵下越地区	125	→	→	H26	
川内村	川内村	宮ノ下 1	15	→	→	H26	
		宮ノ下 2	10	→	→	H26	
川俣町	川俣町	新中町	40	→	→	調整中	
大玉村	大玉村	横堀平	67	→	→	調整中	
(未定)	(建設用地が未確定)	2,536		(未定)		(未定)	
合計		4,890					



避難されている皆さまに復興公営住宅への入居を判断する材料としていただくため、モデルルームをいわき市と郡山市で展示しています。居室内はバリアフリーで、高齢の方等にも優しく快適な仕様となっています。



展示期間 平成26年2月1日～平成28年1月31日
開館時間 10時～17時(土日祝日も開館) ※休館日: 毎週水曜日・年末年始(12月30日～1月3日)
展示内容 2LDK 1戸分・3LDK 1戸分 問 福島県庁 生活拠点課 ☎024-521-8617

復興公営住宅の入居支援を行う窓口を開設しました

福島県では、原子力災害により避難指示を受けている方々が、円滑に復興公営住宅に入居できるよう、平成26年2月14日に「福島県復興公営住宅入居支援センター」を開設しました。
平成26年度中に竣工予定の団地について、今年4月から募集を開始する予定で、**入居希望者に対する情報提供や問い合わせ対応、募集案内及び申込書の受付**などを行います。詳しくは、下記窓口までお問い合わせください。

問 福島県復興公営住宅入居支援センター
(福島市中町8-2 自治会館6階) ☎024-522-3320

広野町 地震・津波被災者の住宅再建を支援

広野町では、東日本大震災において、地震または津波により被災した住宅の再建支援を通じて住民の定着を促し、住民の早期の生活再建を支援しています。地震または津波被害を受けた住民や、町外からの転入者に対する住宅の再建等に要する費用の一部を支援する、新たな制度を創設しました。

住宅の購入 または建設	住宅の修繕		町内に住宅を 再建する転入者
	大規模半壊以上	半壊	
上限250万円	上限150万円	上限50万円	上限20万円

問 広野町役場企画グループ ☎0240-27-2114

県外での支援イベントのお知らせ

山形県 ままカフェサロン@米沢市
山形県内に避難している親子・子育て中の皆さま向けのサロンです(申込不要)。時間内は出入り自由です。

日時 毎週木曜日 10時～14時
場所 置賜総合文化センター 3階和室(米沢市金池3-1-14)
問 NPO法人やまがた育児サークルランド(担当:土屋) ☎・FAX 0238-87-0239(月～金 9時～17時)

栃木県 ふれあいお茶会
栃木県内に避難されている皆さまへ。お茶や軽食を囲みながらお話をしたり、つながりづくりの場としてお気軽にお越しください。

日時 3月18日(火) 10時～12時
場所 社会福祉法人ふれあいコープ 特別養護老人ホームみどり(宇都宮市緑5-13-6)
問 特別養護老人ホームみどり(担当:狐塚) ☎028-616-6500
http://homepage2.nifty.com/tochigikenren/ (栃木県生活協同組合連合会HP)

北海道 みちのくカフェ ポーセラーツ教室 (福島県「地域の寺子屋」推進事業)
子どもからお年寄りまで参加できる物作り講座を行います。

日時 3月12日(水)、19日(水) 11時～14時
場所 みちのく会 月寒事務所(札幌市豊平区月寒西1条7-1-11)
問 みちのく会 ☎011-826-4092 office@michinokukai.info

※他の地域の交流会等の情報についても、下記サイトをご覧ください。

全国に避難されている方々のための地域情報サイト

避難されている方々へ 検索 携帯からもご利用できます。

http://fukushima.jpn-civil.net/

甲状腺検査日程 福島県外

検索

また、福島県外でも、本学と協定を締結している全国82の医療機関において受診(完全予約制)することができます。県外検査実施機関は次のWEBサイトでご確認ください。

甲状腺検査日程 福島県内

検索

平成26年4月から本格検査(2回目の検査)が始まることから、右記対象者の方でまだ先行検査を受診されていない方は、ぜひ受診してください。
福島県内では、現在検査を実施している会津地方以外にも平成23年度及び平成24年度実施対象市町村の未受診者については、下記のとおり追加検査も実施いたします。

甲状腺検査の実施について

震災当時(平成23年3月11日時点)で、概ね18歳以下の県民の皆さまを対象に、甲状腺に結節(しこり)などがなければ、超音波診断装置を使用して甲状腺の状態を把握し、長期にわたって子どもたちの健康を見守っていくものです。

甲状腺検査とは

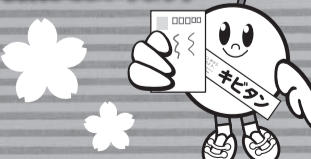
甲状腺検査未受診者の皆さまへ
甲状腺検査の先行検査(1回目の検査)を受診されていない方へのお知らせです。

実施日	実施場所	
3月17日(月)	南相馬市	原町保健センター
3月18日(火)	西郷村	ホテルサンルート白河
3月19日(水)・20日(木)	福島市	国体記念体育館
3月24日(月)・25日(火)	郡山市	郡山市労働福祉会館
3月26日(水)	いわき市	いわき好間コミュニティ健康プラザ
3月27日(木)	会津若松市	アピオスペース

検査時間 10時～13時、14時～17時
なお、県内検査・県外検査いずれも、詳しくは左記問い合わせ先にご連絡ください。

読者の声

読者の皆さまからいただいた声を今後の誌面づくりに反映してまいります。



住まいについて

復興公営住宅の建設の進捗状況を知りたい。また、募集開始はいつになるのか、詳しい立地場所についても掲載してほしい。
(会津若松市 50代 女性)

生活インフラ等の復旧

常磐道の開通見通しはどのようになっているか? 双葉郡における商店街などの再開状況の情報が知りたいです。
(宮城県 30代 男性)

子育てなど

子どもたちの運動不足が気になります。福島の子どもたちへの健康支援や利用できる施策などについて紹介してほしい。
(福島市 20代 女性)

(ご意見は) ☎960-8670 福島県庁 避難者支援課「読者アンケート」係

編集者

常磐自動車道の広野IC～常磐富岡IC間が約3年ぶりに開通しました。これにより、国道6号線などの混雑緩和や利便性の向上が見込まれると、浜通りのより一層の復旧の後押しにつながることを期待しています。【ケイ】